

PETCTドック 完全予約制

検査項目：問診・血液検査【血糖・腫瘍マーカー】

PETCT検査

毎週月～金曜 案内時間 8:00 料金：99,000円(税込)

キャンセル料50,000円

Step
1

電話で西濃厚生病院 健診センターへお電話下さい。
ご相談の上、検査日時を決定します



健診センター
0585-36-3900

受付時間 平日13:00～16:00

Step
2

受診者様の予約時間等を記入した、案内等をお送りいたします



検査 説明書
検査 同意書

Step
3

受診日の前日に電話で体調確認等を行います

受診者様にお渡しするもの

- PET/CT検査 事前案内・問診票
- PET/CT検査 検査説明書
- 結果報告書
- 画像データCD

専門医による診断レポート

結果報告は
約3週間でご自宅へ結果報告書
と画像データCDを一緒に発送致
します。希望者には医師による
結果説明も可能です

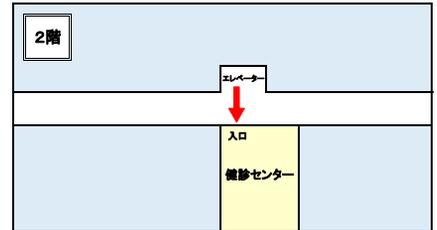
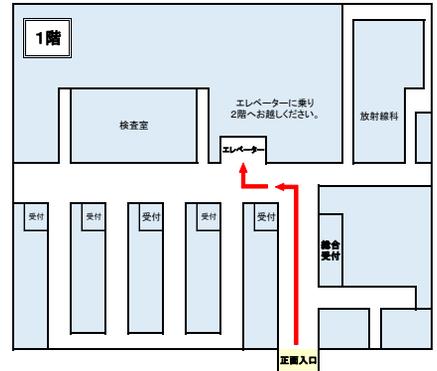
- 健診料は99,000円です。キャンセル等の場合は前日の12時までにはご連絡下さい。
- 以下に該当する方は、原則検査ができません。
 - 糖尿病の治療中または経過観察中の方
 - 血糖値が著しく高く、検査前の血糖値をコントロールできない方。
 - 待機中や撮影中に静かにできない。
 - 妊娠中または妊娠の可能性がある。
- 万一、機器の故障や薬剤輸送のトラブルなどで検査ができない場合があります。その場合は、時間の変更もしくはあらためて日程を変更して検査をさせていただきます。

検査を受けるにあたって

使用期限が短い（約2時間）特殊な薬剤を使用します。原則、当日のキャンセルや検査時間の変更はできませんので時間厳守で来院していただきます。

- ※ 検査では高価な薬剤を検査日・時間に合わせて取り寄せて使用します。この薬剤は短時間で使用不可能になってしまいますので受診者の方の都合で当日検査をキャンセルされる場合は50,000円のキャンセル料が発生しますのでご注意ください。

検査前日に確認のお電話をさせていただきます
ご了承ください。



検査を受けるにあたっての注意事項

食事の制限	検査前4時間は食事を摂らないでください。糖分を含む飲み物、アメやガムなども摂らないでください。ただし、水・お茶など糖分を含まない飲み物は普段通り摂ってください。	
運動の制限	検査前日から激しい運動や肉体労働はさけてください。また注射後の安静時に携帯電話・スマートフォンの使用、本を読んだり会話をしたりすることはお控えください。	
他の検査について	PET-CT 検査を受ける1週間前から、マンモグラフィー（乳腺X線検査）、胃や大腸などの内視鏡検査やバリウム検査は行わないでください。	
その他	寒い季節は、病院まで暖かい服装でおこしてください。	

当日検査の流れ

検査所要時間は、受付から退室まで4時間程度かかります



PET/CT検査とは

PET/CT検査とは

Positron Emission Tomography / Computed Tomography

一度の検査で全身撮影

一度の撮影で、ほぼ全身をみることができます。

苦痛の少ない検査

薬剤を注射して約1時間安静にした後、カメラの下で30分ほど横になって写真を撮影します。

がんの転移や再発の診断に有用

全身を一度に撮影しますので、転移や再発の発見に有用です

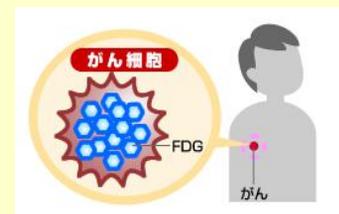
組織の活動状態がわかる

薬剤の集まり具合で組織の活動や、良性・悪性の識別をすることができます

PET/CT検査の原理

からだを構成している細胞は、生きていくためのエネルギー源として「ブドウ糖」を必要としています。がんなどの悪性腫瘍は正常な細胞よりも増殖が盛んに行われるため、3~8倍のブドウ糖を必要とします。

PET検査は、このようながん細胞の性質を利用して、がんを発見・診断します。ブドウ糖と同じ性質を持つ放射性の薬剤（FDG）を体内に注射し、全身を撮影します。がん細胞は正常細胞よりも多くのFDGが集まります。



PET/CT検査の特徴

当院のPET-CTは、検出器に半導体を用いています。従来型のPETより、画像の解像度が良くなり、検査時間の短縮も見込まれます。また、PET薬剤（FDG）の量も少なく済み、被ばくの低減が可能です。

PET/CT検査とは

発見しにくいがん

PET/CTでも、微小ながんは発見することができません。

また、進行の度合いや種類、部位によっては、発見しにくいがんがあることもご了承下さい。

発見しにくいがん

膀胱・尿管のがん

腎臓がん

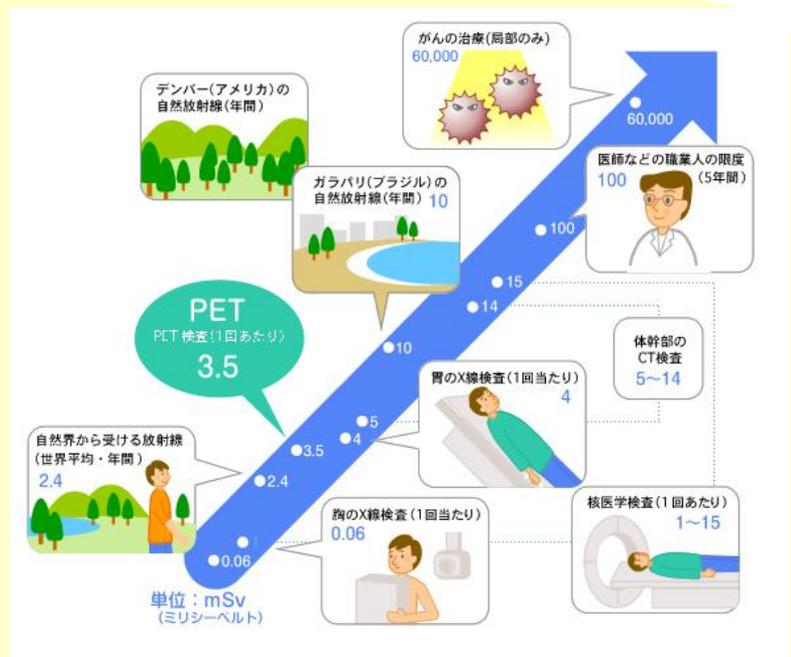
肝細胞がん

胃がん

前立腺がん

微小ながん

被ばくについて



放射線を放出する薬剤を使用するため、わずかな放射線被ばくがあります。

1回のPET-CT検査で受ける被ばく線量は、PETで3.5mSv（胃のバリウム検査と同等）、CTで10mSv、あわせて約13.5mSvの線量です。しかし、放射線を用いた検査は被ばくによる不利益よりも検査によって得られる利益の方が十分に大きいと判断される場合に実施します。また、この線量で放射線障害がおこることはありません。

検査が終了しても、体内から微量の放射線が放出されています。この放射線が完全になくなるまでに24時間程度かかります。

検査当日は人ごみなどへの外出はお控えください。また、乳幼児への緊密な接触もお控えください。